

1、目指す学校像 一人ひとりの生徒を大切にす教育

2、重点目標

1) 学校全般

○建学の精神(正・浄・和)を踏まえた「明の星教育」を中高一貫体制の中で実現する。

(校訓「正」、実践目標「ほんとうの私を生きる」を理解する。)

創立五十周年を記念し、式典、卒業生による講演会、文化の会(演奏会)を開催し、記念誌を発行することにより、生徒たちはこれまでの学校の歩み、精神を改めて理解した。

「ほんとうの私を生きる」先輩たちの講演から、生きる姿勢を学ぶ事ができた。生徒たちは50周年を喜びの内に迎え支えて下さった方々への感謝の気持ちを持ちながら一連の行事に臨んでいた。

=達成度 A

2) 教育

○中高一貫教育の中での新教育課程、生活指導の徹底をはかる。

(生徒の学力の定着と伸張を図る学習指導のあり方を検討する。)

より良い授業が展開できるよう、各科で研修会に参加するなど研鑽を積んだ。

中高それぞれ時期に応じて適切な資料等を配布することで、生徒が考える機会を持ち、広く将来を見据えた進路選択ができるようにした。

大学入試改革に即した教員研修会を行った。

=達成度 B

3) 広報

○明の星教育を広報する方法を確立する。

(明の星教育が理解できる、わかりやすい資料であるか確認する。)

入試が円滑、安全に行なえるよう配慮しながら業務を滞りなく行うことができた。

本校の教育を望む受験生を確保するために、本校の教育内容と結びついた広報に努めた。

=達成度 A

4) 財務

○計画的な財務管理を継続する。

(創立五十周年行事等を踏まえた財務管理)

周年行事関係も含め予算執行についてほぼ達成できた。

今後とも引き続き更なる安定した財務管理に努める

=達成度 B

達成度 A ほぼ達成 B 概ね達成 C 変化の兆し D 不十分

学校関係者評価委員会

日 時 2019年3月9日(土) 13:00~14:00

場 所 学園会議室

出席者 学校関係 : 校長 高校教頭 中学教頭 事務長

正和会(保護者会)関係: 畠中会長 衣川副会長 白川副会長

1、建学の精神(正・浄・和)を踏まえた「明の星教育」を中高一貫体制の中で実現する。を中心に三つを重点目標とし取り組んでいる。

2、今年度を振り返って

1) 教育方針・教育環境について

(正和会)

- ・在学中はずっと校舎建設中であつたが、不自由さを感じることなく6年間安全に安心して過ごせた。
- ・先生方は生徒の話聞き、受け入れてくださり個人を尊重して下さつた。明の星が温かかっただけに、社会に出て理不尽な大人に接した時どうであろうかと思う。
- ・先生方と生徒の距離が近かっただけに、目上の方に対する接し方を注意することもあつた。
- ・自分を見つめる力が養われ、自分で考えていくようになった。
- ・施設も広くのびのびと過ごすことができた。
- ・進路に合わせて大学訪問をし、卒業生の話が聞けたのはよかつた。本人の意識が変わり、動機付けになつた。

(学校)

- ・目上の人に対する接し方はそのうち覚えていくものであろうし、弁えもあるだろう。
- ・生徒が昔より子供になっている気がする。ぶつかってくる生徒は以前の方が多かつた。
- ・校舎建て替えの際はプレハブ校舎を使用せず、多少不便でも引っ越しをしながら新校舎に移行できてよかつた。

2) 要望

- ・電話連絡網が非常に回りづらい。仕事をしている保護者も多くつながらないため、かなりのご家庭に連絡をすることが多かった。翌日の持ち物などに関して、敢えて連絡網を利用しなくてもよいと思われる内容もあった。
- ・部活動の練習場所が確保しづらいことがあった。

以上

平成 30 年度 浦和明の星女子中学・高等学校 第三者評価

1. 学校全般

○建学の精神（正・浄・和）を踏まえた「明の星教育」を中高一貫体制の中で実現する

日常の学校生活における放送朝礼やアッセンブリ（全校集会）などの機会に加え、今年度は創立 50 周年の記念式典や記念誌の発行のほか、卒業生講演、文化の会（演奏会）などを通じて、生徒は校訓に接する機会を多く得ることができ、学校のこれまでの歩みと精神に改めて理解を深めている。

「ほんとうの私を生きる」先輩たちの講演からは、生きる姿勢を学び取り、喜びと支えてくださる方々への感謝の念を抱きながら、生徒たちが 50 周年の一連の行事に取り組んでいる姿が見られた。

2. 教育

○中高一貫教育の中での新教育課程、生活指導の徹底をはかる。

各教科で研修会に参加するなど、より良い授業展開に関する知見を深める教員の活動が見られた。広く将来を見据えた進路選択を生徒に促すため、中高それぞれで適切な時期・内容の進路資料を配布したほか、大学入試改革に関する情報収集のための教員研修会も実施されていた。

3. 広報

○明の星教育を広報する方法を確立する。

志願者数が 2,000 名を超えた第 1 回入試を含め、入試業務全般を円滑・安全に行えている。広報活動としては学校紹介 DVD を刷新するなど、明の星教育を理解してもらいやすい工夫をしている。

4. 財務

○計画的な財務管理を継続する。

創立 50 周年行事等を踏まえた財務管理も含め、計画的に予算執行ができています。今後も将来を見越した計画的な予算編成・執行による安定した財務管理がなされることを期待する。

以上